



はやま



平成28年 (2016年)

8月号

No.557



特集 人形が教えてくれた平和の大切さ

特集記事 … 2	子育てひろば … 10	町からのご案内 … 16
人事行政運営等の状況 … 6	健康情報 … 12	でんごんばん … 18
はやまNEWS … 8	教育委員会だより … 14	町長コラム … 23

町職員が
解説します！



生涯学習課 学芸員 山口正憲 主査

町の文化財に関する業務を行う生涯学習課の職員。「青い目の人形メリーさん」が辿った歴史を解説します。

「青い目の人形メリーさん」町文化財指定記念

特集 人形が教えてくれた

平和の大切さ



▲ 昭和50年代頃の葉山小学校の児童とメリーさん
(写真：マール社編 (1988)『青い目の人形交流展』朝日新聞社、そごう美術館)

人形が 辿った 足跡

昭和2年

アメリカから友情の証として
日本全国に人形が贈られる

昭和16年ごろ

太平洋戦争の開戦を機に、人形は「敵国のもの」として、軍より処分命令が下される

昭和20年

第二次世界大戦の終戦

昭和50年ごろ

全国各地で処分されなかった人形が再発見される

昭和53年

葉山小学校資料室で「メリーさん」が発見される

再発見から現在まで

校長室に展示され、平和教育に活用されている



葉山小学校の朝の集いでは、定期的に校長先生からメリーさんのことが語られます。



メリーさん(写真右)を寄贈したギューリック博士の孫によってキャサリンちゃん(左)が昭和57年に贈られました。



▲ギューリック博士

かわいらしい顔をした西洋人形、メリーさん。
今から約90年前にアメリカから日本に送られ、この度、「青い目の人形メリーさん」として葉山町の文化財に指定されました。
メリーさんが辿った歴史を振り返ることで、戦争のおろかさや平和の大切さを、改めて考えてみませんか。
― 青い目の人形は、なぜ日本に贈られたのですか？
山〇 大正末期から昭和初期にかけて、アメリカでは日本人移民に対する排斥運動が高まるなど、日米の関係はあまり良くなかったとされています。
その中で、関係の好転を図ろうと動いたのが、アメリカの宣教師、シドニー・ルイス・ギューリック博士です。

た。博士は、宣教師や教育者として、日本に通算20年以上滞在し、人形を通して友情の交流を図ろうと考えたそうです。
そこで全米で募金を呼びかけ、それによって贈られたのが、12739体の人形です。
― 葉山小学校にはどうやって届いたのでしょうか？
山〇 葉山小学校の記録では昭和2年に、当時の校長先生などが神奈川県庁へ出向き、人形を受け取っています。
小学校では盛大な歓迎会が開かれ、毎年ひな祭りには、ひな人形と一緒に、メリーさんが飾られていたそうです。
― 12739体のうち、現在存しているのは、わずかなのはなぜですか？
山〇 各地に贈られた人形は、太平洋戦争の激化とともに、「敵国の人形」として焼かれたり、埋められたりと悲しい運命を辿りました。空襲で焼失したものもあります。
その結果、現在までに残されている人形は約300体、三浦半島内には葉山小学校の1体のみとなっています。

― 葉山小学校には、なぜ残っているのでしょうか？
山〇 当時の学校関係者が「人形に罪はない」と考え、人目につかない場所に隠していたそうです。しかし、それがいつのまにか資料室に埋もれてしまい、次に発見されたのは昭和53年のことでした。
― 再発見後は、どんな活用がされていますか？
山〇 発見されてからは、校長室で大切に保存されています。また、児童たちに「戦争の悲惨さと平和の大切さ」を伝えるため、朝の集いなどで平和に関する話をする際の資料として活用されています。
また、町ではメリーさんが「第二次世界大戦前における日米の文化交流を知るうえで、重要な歴史資料」だと考え、町の文化財に指定しました。



▲埼玉県平和資料館ではアニメ映像を公開

子どもたちから
メリーさんへ
ありがとう



教科書に「昔、アメリカから贈られた青い目の人形が、今は少ししか残っていない」と書いてありました。そんな貴重な人形が私たちの学校にあって驚いたし、これからも大切にしていきたいと思います。

(葉山小6年 生木優音さん)



最初に見た時は、今の人形と違って、肌が硬かったり、昔の物なので少しヒビが入っていたりしたので、怖いと思いました。でも今は、戦争の怖さや平和のことを教えてくれて、勉強になったので嬉しいです。

(葉山小6年 高橋 采さん)



発見当時のPTA会長に聞きました！

子どもから愛される まさに友情人形

初めて見た時の印象は、青い目がくりっとしていて、とても可愛らしく、大きさも本物の赤ちゃんのようで、これなら児童たちに親しんでもらいやすいなと思ったのを覚えています。

これからも何十年、何百年と子どもたちに親しまれ、平和の素晴らしさを伝える存在になっていってほしいです。

また、改めて展示されるのなら、久しぶりに可愛らしい顔を眺めに行きたいです。

昭和53年当時の

葉山小PTA会長

本藤裕子さん

葉山小の校長先生に聞きました！

みんなの心をつなぐ 大切な存在



人形という字は、人の形と書くように、昔から人と同じく心が宿っているとされています。メリーさんを贈ってくれた方の心、大切に残してくれた人々の心、そして平和を未来につなげる子どもたちの心。全てが温かく、これからも大切にしていきたいです。

また、葉山小だけでなく、地域の皆さんにも広く知っていただきたい。昔の人々が戦争によって何を感じ、何を守ろうとしたのか、メリーさんをきっかけに考えていけたらと思っています。

葉山小学校 中世校長

メリーさんを見て、平和の心を感じよう

葉山町では、「青い目の人形メリーさん」の文化財指定を記念して、人形や平和標語を展示します。

日時 8月2日(火)～15日(月)の平日

場所 保育園・教育総合センター2階 まなびの広場

問合せ 生涯学習課 ☎内線7233

終戦から71年 平和について考える

原爆死没者の慰霊

昭和20年8月6日の8時15分に広島へ、8月9日11時2分に長崎へ原子爆弾が投下されてから、今年で71年を迎えます。

このような悲劇が二度と繰り返されないよう、原爆投下時刻に黙とうを捧げましょう。

問合せ 福祉課

☎内線231



終戦の日の戦没者追悼

8月15日に開催される全国戦没者追悼式にあわせ、慰霊塔で半旗を掲揚し、正午から戦没者の冥福を祈り、1分間の黙とうを捧げます。

皆さんも職場や家庭で黙とうにご参加ください。

問合せ 福祉課 ☎内線231



平和を考えるバスツアー

子どもたちに戦争のおろかさや悲惨さを伝え、平和の大切さを考えてもらうツアーです。

日時 8月10日(水) 9時～16時30分

場所 南郷上ノ山公園-昭和館(九段下)

-関東学院大学で大学生とグループトーク

対象 町在住在学小学5年生～中学3年生
(保護者1人まで同伴可)

定員 20人(先着順)

費用 100円(保護者は400円)

持ち物 飲み物・昼食・筆記用具・帽子
(昼食は休憩所のフードコート利用も可)

申込み 政策課協働推進係まで電話でお申し込みください

☎内線335

締切

8月4日(木)



平和標語コンクール ～非核・平和について考える～

町在住在学の中学生を対象に、非核・平和に関する標語を募集します。

入賞作品は広報紙等に掲載します。

申込み

町HP・町役場・

図書館にある応募用紙

を郵送するか持参して政策課までお申し込みください

問合せ 政策課 協働推進係

☎内線335

※町立中学校の生徒は、学校で申込書を配布し、学校で回収します。

締切 9月9日(金)

